

岡地マレーシアに「BMD 2015 年度トップ・クリアリング・ブローカー賞」

2016年4月1日、ブルサ・マレーシア・デリバティブス（以下、BMD）の2015年度トップ・クリアリング・ブローカーとして岡地マレーシアが表彰された。

岡地マレーシアは1980年の設立当初からマレーシア国内の商品先物市場でブローキング業務を展開、その後、マレーシア国内ブローカーの先駆けとして海外商品先物市場の取次ぎにも参入し活躍の色を強めていった。特にBMDの主力商品であるパーム原油先物市場での商いは活発で、最近では一日平均出来高のおよそ30%のシェアを占めるほどとなっている。また、同社はローカルズと呼ばれるBMDの個人取引所会員を多く抱えていることでも知られ、今回の受賞にも大きく貢献している。ちなみにこのローカルズ会員、パーム原油先物市場における影響は大きく市場全体の3割ほどの取引量を占めている。

今回のブルサ・マレーシア・グループが主催する表彰式 The Bursa Malaysia Broker Awards は、同取引所の証券取引員と先物取引員が招待され、証券市場・先物市場それぞれにおいて、様々なカテゴリーの表彰が行われる。岡地マレーシアは前年に引き続き、2015年度も年間クリアリング枚数が一番多かった取引員に贈られるトップクリアリングブローカー賞を2年連続で受賞。授賞式には同社MDの川崎敬太氏が代表として壇上に上がり表彰された。

現在、BMDには18社の先物取引員が登録されており、商品先物以外にも株式先物や金融先物も上場している。その中でもパーム原油市場の取引量は突出して大きく、BMD全商品出来高の約8割を占める。2000年以降、同取引所の出来高は右肩上がりに市場規模を拡大、そして2009年にCMEグループとの資本提携により出資比率がブルサ・マレーシア・グループ75%、CMEグループ25%となりさらに競争力を高めた。その結果、2013年度にはBMD全商品年間出来高が同取引所創設以来初となる1,000万枚を突破、そして翌2014年度には同1,250万枚まで躍進し、さらにパーム原油先物市場単体で初の年間出来高1,000万枚超えも記録。2015年度も勢いは継続し、前年度比+12%となる年間出来高1,400万枚（全商品）、パーム原油先物市場単体でも同+9%の1,100万枚を達成するなど、目を見張る成長がうかがえる。

